

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	2684
平成18年度部名	保健福祉部		課名	障害福祉課		課長名 篠崎 正義
平成19年度部名	福祉部		課名	障害福祉課		課長名 原 修
事務事業名	相模原市障害者地域作業指導事業					
予算上の事務事業名	障害者地域作業所運営費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11310		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加					
施策名	第1施策 自立した生活を実現するための環境づくり					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市障害者地域作業指導事業補助金交付要綱 相模原市障害者地域作業指導事業実施要領					
3 個別計画の概要			概要			
計画名	相模原市障害者福祉計画		障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実地計画（前期H10～14、中期H15～18、後期H19～22）			
計画年次	10	年度～	22	年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					
障害者の地域ケア対策推進の一環として地域ぐるみの協力により、主に就労することが困難な在宅障害者が作業活動等を通じて、地域社会の一員として生活することを促進する				(2) 対象(誰、何)		
				事業の目的を行う社会福祉法人等		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
市内にある35箇所の障害者地域作業所に対して、運営費、家賃助成及び重度障害者加算の補助金(主に人件費となる)を交付した。 ・ 運営費・・・通所人数に応じてAランク(20名以上)10,450,000円、Bランク(15名以上19名以下)9,050,000円、Cランク(10名以上14名以下)8,250,000円 ・ 家賃助成・・・上限月額20万円 ・ 重度障害者加算・・・一人当たり月額20,000円(療育手帳A1、療育手帳A2かつ自閉傾向があると医師により診断されたもの。月額10,000円(身体障害者手帳1・2級、療育手帳A2、精神障害者保健福祉手帳1級、障害基礎年金・障害厚生年金1級))						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
関連事業は、作業所を社会福祉法人が運営している「活動センター」及び今後、作業所が移行する可能性の高い「地域活動支援センター」があげられる。 全国で事業展開されている。						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	387,519	385,101	424,219	363,299	363,299	
一般財源	277,054	299,038	356,978	363,299	363,299	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	110,465	86,063	67,241	0	0	
人件費の合計	7,600	7,600	7,809	7,600	7,600	
事業コスト合計	395,119	392,701	432,028	370,899	370,899	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	障害者地域作業指導事業			対象名称 と単位	地域作業所数	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	395,119	392,701	432,028	370,899	370,899	
対象数	34	34	36	34	25	
単位あたり経費(円)	11,621,147	11,550,029	12,000,778	10,908,794	14,835,960	
前年度比		0.99	1.04	0.91	1.36	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	利用者数	指標式と指標の説明		当該年度利用者数 利用者数を把握することで、障害者に働くよこびと社会参加の意識を高めることを促進した数値が把握できる。	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	587.0	535.0	620.0		
目標	600.0	600.0	650.0	700.0	750.0
目標達成度（%）	97.8	89.2	95.4		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	通所率	指標式と指標の説明		当該年度利用者数 利用者数を把握することで、障害者に働くよこびと社会参加の意識を高めることを促進した数値が把握できる。	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	14.1	14.2	14.7		
目標	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
目標達成度（%）	78.1	78.7	81.5		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
〔 〕：良好な状態を維持する事業					
〔 〕：概ね良好な状況である事業					
〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		現段階では現状維持であるが、運営主体の意向を尊重しながら、地域活動支援センター及び個別給付事業への移行促進を行うことが必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
画一した支援内容ではなく、利用者個々の要望に応じ、就労に結びつけられる施設とするために、職員のスキルアップが必要であると考えられる。			安定した支援ができるよう法定内事業への移行支援を行う。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			